

名都借の木

No. 55



2025 年10月 7 日発行
発行者: 流山市立木の図書館
(指定管理者: 株式会社すばる)
住所: 流山市名都借313-1
Tel: 04-7145-8000



2025 年度読書週間 10/27-11/9

「こころとあたまの、
深呼吸。」



今年の読書週間の標語は

「こころとあたまの、深呼吸。」

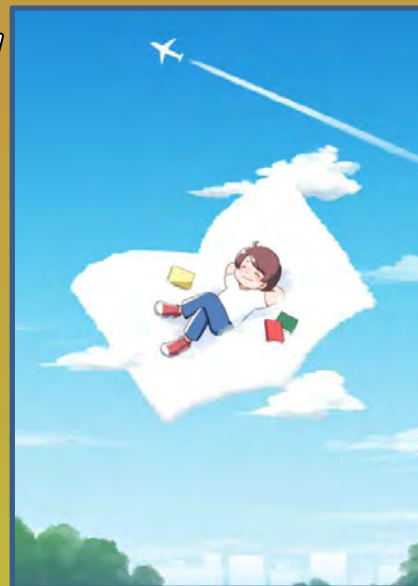
です。作者の磯辺菜々さんによれば、ため息をついたり、何かに気付いて息をのんだりして、

「こころとあたまに酸素が満ちたら、どこまでも遠くへ泳いでいける気がします。」

とのこと。またポスターを描いた天野美月さんによれば、

「読書は心の”息継ぎ”なんだ」

とのこと。



天野美月さんによる
読書週間ポスター

息をすること



呼吸法にかかわる本いろいろ

儒学者の貝原益軒が江戸時代中期に著した「養生訓」は、心と体の健康を説いていて、庶民向けの健康心得として長く愛読されてきました。

総論ではいろいろな場面の健康について書いた後、それらがどういう考えの上に成り立っているかが書かれ、終盤では呼吸の大切さが書かれています。

現代では、さまざまな呼吸法が健康のために提案されています。木の図書館では主に 498.3 健康法に分類されていますが、様々な視点から書かれた本が数多くあるため、検索機やカウンターで調べるのがおすすめです。

心の”息継ぎ”



教科書に載った詩「最初の質問」の作者、長田弘の詩集「深呼吸の必要」は“言葉を深呼吸するための詩集”とのこと。詩集だけでなくエッセーもおすすめします。

森まゆみのエッセー「本と歩く旅」では”呼吸をするように本を読んできた”著者が、本と旅をして、その土地の空気とともに本を呼吸し、思いをめぐらせています。

また、好本恵著「声の文化を楽しむ」では、読書と呼吸が一体となった朗読から始まり、感動を分かち合うために誰かに伝えることや、作品への親しみや理解の深まり、作品に縁のある土地への旅など、「遠くへ泳いでいく」さまが描かれています。

みなさんも本を「深呼吸」して、いろいろなやりかたで遠くへ泳いでみませんか。



呼吸をするように本を読み、遠くへ泳いでいく手がかりとなる本



実いの秋



原田 マハ・みづき 水脈／著

『ラブコメ』

(KADOKAWA)

日本人ならみんな大好き、お米！
震災を経てお米作りに初挑戦した、原田マハさん・みづき水脈さんの記録。

具体的なお米作りの苦労と、自然の中に身を置く楽しさが伝わってくるエッセイです。

後半の、みづきさんの漫画も楽しい一冊です。



この本もおすすめてです！



石川 拓治／著

『奇跡のリンゴ』

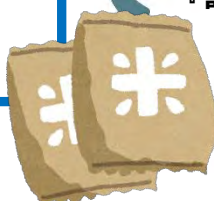
(幻冬舎)



土橋 章宏／著

『いも殿さま』

(KADOKAWA)



他にこんな本もあります！



不思議な生命力とエネルギーを持つ樹木、オリーブ。植えて・育てて・食べて・鑑賞して楽しい、オリーブのある生活を様々な角度から提案しています。これから育ててみたい人にもおすすめです。

小野塚 千穂／監修

『育て楽しむ はじめてのオリーブ』

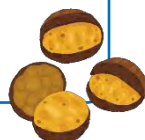
(家の光協会)



野ばらの村に住むねずみ、プリムローズの小さな冒険の物語。

絵がとてもかわいく隔々まで見入ってしまいます。あなたも素敵な森に迷い込んでみませんか？

ジル・パークレム／作・絵
『野ばらの村の秋の実り』
(出版ワークス)



木の図書館イベント情報

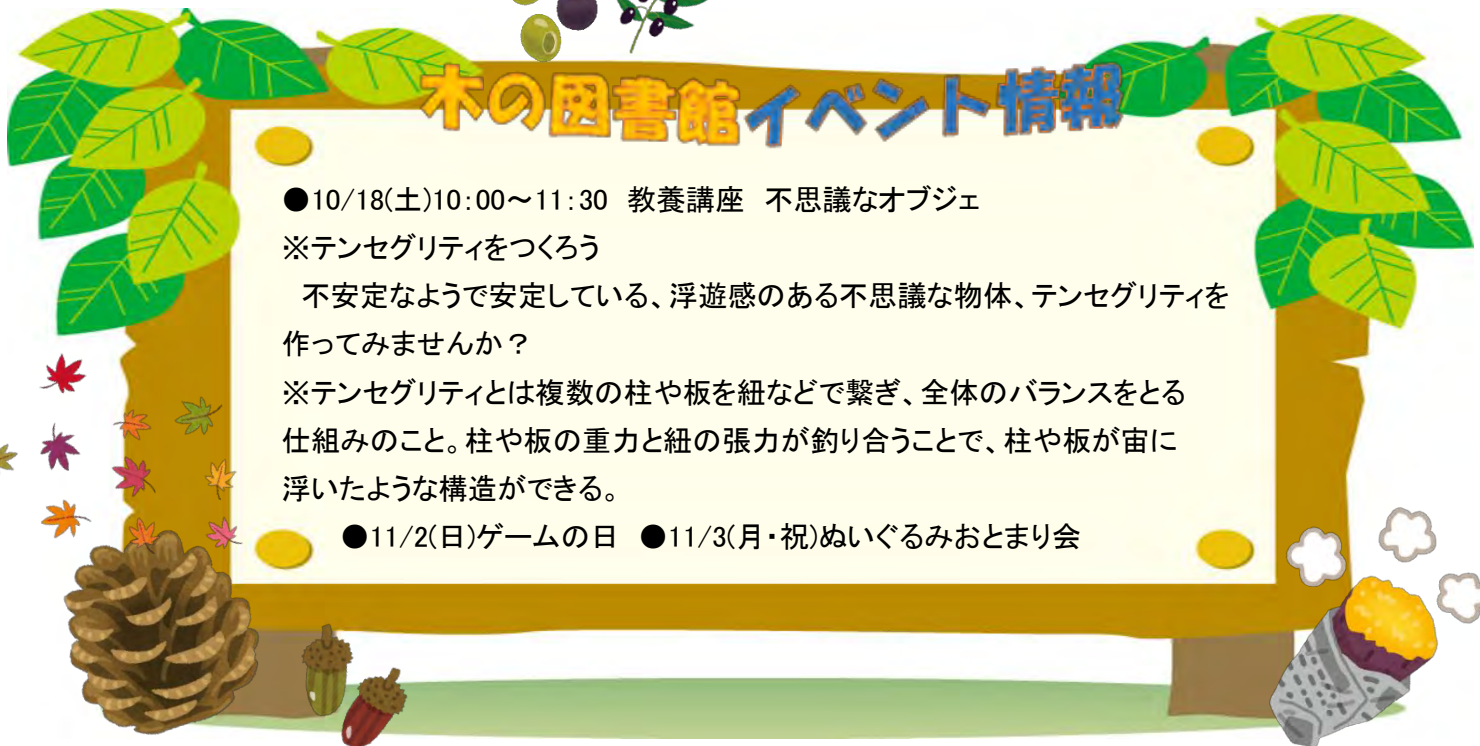
●10/18(土)10:00～11:30 教養講座 不思議なオブジェ

※テンセグリティをつくろう

不安定なようで安定している、浮遊感のある不思議な物体、テンセグリティを作ってみませんか？

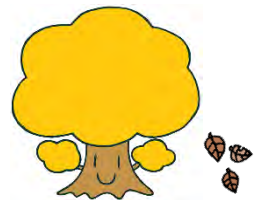
※テンセグリティとは複数の柱や板を紐などで繋ぎ、全体のバランスをとる仕組みのこと。柱や板の重力と紐の張力が釣り合うことで、柱や板が宙に浮いたような構造ができる。

●11/2(日)ゲームの日 ●11/3(月・祝)ぬいぐるみおとまり会





子どもの木



一步ふみだそう

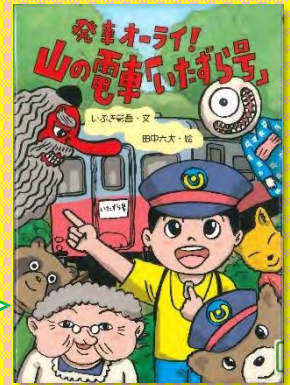
今年木の図書館にやってきた本の中からテーマに沿った4冊をご紹介します。



『はじめてのかり』

オノン・ウルグンゲ／さく
唐亜明／さく
ムンフジン・チュールテミン／え
福音館書店

モンゴルにすんでいるバートル。
とうさんとおじさんといっしょに
しかがりへ行くことに。
はじめてのかりがどうなったの
か、ぜひ読んでみてください。



わくわくえどうわ
『発車オーライ!』
山の電車「いたずら号」
いぶき彰吾／文 田中六大／絵
文研出版

ひいばあに家にママときて
いたトオル。だけど、ママは
急な仕事で帰ってしまい、
トオルは次の日ひとりで帰
ることに。電車に乗ろうと
したら車しょうにされてし
まって…。無事に帰ること
ができるかな？



調べる学習百貨
『東海道五十三次
江戸の世界を旅する』
藤澤紫／監修 岩崎書店

五街道のひとつ、東海道を浮世絵で
旅してみませんか？当時の旅事情
がよくわかる1冊です。本の見返し
(開いてすぐのページ)に描かれて
いる全宿場図もぜひ見てね。

今いる環境が、自分に合っ
ていないと感じた時、どうしたら
いいと思いますか？
この本を読むと、こういう選択
もあるのかと、少し気持ちが
楽になるかも。



『キミの一步 マレーシア』
幸せじゃないなら、やめればいい
野本響子／作 酒井以／絵
あかね書房

イベント情報

くわしくは、館内ポスターや広報、ホームページをご覧ください。

11月 めいぐるみおとまり会(めいぐるみを持ってきていただくのは10月)

12月 クリスマスおはなし会スペシャル

みなさまのご参加おまちしております♪





連絡先
木の図書館
電話: 04-7145-8000

年末年始の休館のお知らせ

流山市立図書館では、
12月29日(月)から1月5日(月)の間は、
休館となります。



郷土へのいざない vol. 45 ～旧水戸街道散歩 その10

根木内歴史公園をあとに柏方面に向かうと新宿坂を上り切ったあたりに「庚申塚」という名前のバス停があり、近くには青面金剛像と庚申塚があります。

「庚申塚」は「庚申塔」ともいわれ、中国から伝来した民間宗教で、長寿を願い庚申の日には寝ないでお祈りをするそうです。きっと元気に坂道を上り下りできるように祈願されたのでしょう。



「庚申塚」バス停と庚申塚



行念寺

そして坂を上ったところに「浄土宗 行念寺」があります。創建は室町後期の明応2年(1493年)3月、JR 常磐線北小金駅近くの東漸寺を開山した愚底運公上人の開基で、東漸寺の末寺です。

『寺号の「念仏を行する寺」として法然上人の念仏の教えを本尊阿弥陀如来のもと今日に守り伝えている。』と碑にかかれています。

10月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

11月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

12月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

 は休館日
 は17:00まで開館
 はおはなし会
 はイベント
 はあかちゃんおはなし会

木の図書館カレンダー

休館日 月曜日(祝日の場合は火曜日)
月末日(土・日・祝日を除く)
年末年始(12/29～1/5)

開館時間 火曜日～土曜日
日曜日、祝日

:9時30分～19時
:9時30分～17時